

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東 大

上場会社名 ローランド株式会社

コード番号 7944 URL <http://www.roland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 英一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 西澤 一郎

TEL 053-523-3652

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,989	△5.8	△183	—	△390	—	512	—
23年3月期第2四半期	39,271	10.7	1,498	—	409	—	△510	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 1,604百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △3,248百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	21.55	—
23年3月期第2四半期	△21.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
24年3月期第2四半期	78,205	—	65,060	—	62.0	2,039.88
23年3月期	79,121	—	64,129	—	60.2	2,001.90

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 48,524百万円 23年3月期 47,621百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	77,300	△1.2	1,400	△38.3	700	△23.0	400	—	16.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	25,572,404 株	23年3月期	25,572,404 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,784,470 株	23年3月期	1,784,485 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	23,787,923 株	23年3月期2Q	23,788,402 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在においての経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・決算補足説明資料は平成23年11月9日(水)に当社ホームページに掲載します。

・当社は、平成23年11月25日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結経営成績

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第2四半期累計	平成24年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
売上高	39,271	36,989	△2,281	△5.8%
電子楽器事業	22,990	20,946	△2,044	△8.9%
コンピュータ周辺機器事業	16,281	16,043	△237	△1.5%
営業利益又は営業損失(△)	1,498	△183	△1,681	—
電子楽器事業	△190	△829	△638	—
コンピュータ周辺機器事業	1,688	646	△1,042	△61.7%
経常利益又は経常損失(△)	409	△390	△799	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△510	512	+1,023	—

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第2四半期累計	平成24年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
電子楽器	8,905	7,938	△967	△10.9%
ギター関連電子楽器	4,518	4,290	△228	△5.0%
家庭用電子楽器	5,209	5,047	△161	△3.1%
映像・音響及び コンピュータ・ミュージック機器	2,987	2,633	△354	△11.9%
その他	1,368	1,036	△332	△24.3%
電子楽器事業	22,990	20,946	△2,044	△8.9%
コンピュータ周辺機器事業	16,281	16,043	△237	△1.5%
合計	39,271	36,989	△2,281	△5.8%

販売地域別売上高

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第2四半期累計	平成24年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
日本	5,004	4,436	△567	△11.3%
北米	6,931	6,058	△873	△12.6%
欧州	7,863	7,013	△849	△10.8%
その他	3,189	3,436	+246	+7.7%
電子楽器事業	22,990	20,946	△2,044	△8.9%
日本	1,799	1,793	△6	△0.3%
北米	3,786	3,812	+25	+0.7%
欧州	5,662	5,556	△106	△1.9%
その他	5,031	4,881	△150	△3.0%
コンピュータ周辺機器事業	16,281	16,043	△237	△1.5%
合計	39,271	36,989	△2,281	△5.8%

(注) 前連結会計年度において持分法非適用非連結子会社であったRoland (Shanghai) Logistics Co., Ltd. 及びRoland DG Australia Pty. Ltd. は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、日本国内では東日本大震災の影響による経済活動の一時的な停滞からは脱したものの、円高の更なる進行による景気下振れが懸念される状況が継続しました。また、北米では雇用環境に改善が見られず、欧州ではユーロ圏での財政・金融不安が広がる等、先進国全般において先行き不透明な状況で推移しました。一方、中国、ブラジルを中心とした新興国では、景気拡大の速度が緩やかになるものの、持続的な経済成長が見られました。このような経済環境の下、各事業セグメントにおいて、次の通り事業を展開しました。

#### 【電子楽器事業】

付加価値の高い新製品を多数、市場に投入するとともに、コンテストや製品イベント等により幅広い顧客層に直接訴求することで、新規の需要喚起に取組みました。また、グローバルでのショップ・イン・ショップ展開の推進や、教育分野への用途提案等、販売・流通網の拡充にも引き続き注力しました。

製品別では、ギター関連電子楽器や家庭用電子楽器の新製品が好調に推移したものの、シンセサイザーや電子ドラム等の電子楽器は、高価格帯を中心に販売が低調に推移しました。また映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器においては、業務用映像機器が好調であったものの、その他の商品群で販売が伸び悩みました。

地域別では、中国、ブラジル、ロシアを中心とした新興市場において着実な成長が見られたものの、日本、北米、欧州の主要市場においては、個人消費が低迷するなか、震災による一部製品の生産停滞もあり、販売が減少しました。

結果、円高の影響も加わり、売上高は209億46百万円（前年同期比8.9%減）、利益面では、減収に加え、震災による生産量減少から原価率が悪化し、8億29百万円の営業損失（前年同期は営業損失1億90百万円）となりました。

#### 【コンピュータ周辺機器事業】

当期より、「事業の軸を増やす」、「コスト競争力の強化」、「マーケットマネジメントの強化」を重点施策として、将来にわたる経営基盤の構築に取り組み始めました。

製品別では、プリンターで主力製品の販売が減少した一方で、工作機器やサプライ品が伸長しました。工作機器では、前期よりデンタル市場に投入した製品の販売活動が本格化し、売上の増加に貢献しました。

地域別では、日本において、震災後に企業の設備投資意欲が減退し販売が一時減少したものの、後半には新製品を中心としたアプリケーション提案等が需要拡大に結び付けました。北米では販売が好調に推移し、欧州でも国や地域によりバラつきはあったものの積極的な販売促進活動等により堅調に推移しました。一方、アジアでは、在庫調整により中国向けの出荷を抑制したことを主因とし、全体として販売が減少しました。

結果、円高の影響も加わり、売上高は160億43百万円（前年同期比1.5%減）、利益面では、海外販社の仕入コスト増に加え、生産量減少により原価率が悪化し、営業利益6億46百万円（前年同期比61.7%減）となりました。

以上の結果、全体の売上高は369億89百万円（前年同期比5.8%減）、1億83百万円の営業損失（前年同期は営業利益14億98百万円）、3億90百万円の経常損失（前年同期は経常利益4億9百万円）、四半期純利益は、連結子会社のローランド エスジー㈱を吸収合併したこと等に伴う繰延税金資産の計上等により5億12百万円（前年同期は四半期純損失5億10百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における平均為替レート(※)は、82円/米ドル（前年同期91円）、115円/ユーロ（同121円）でした。

(※)海外連結子会社の事業年度は1月～12月のため、平成23年1月～平成23年6月の平均となります。

セグメント毎の販売状況は、次の通りです。

### 【電子楽器事業】

#### [電子楽器]

シンセサイザーは、エントリー・タイプの新製品が販売堅調であったものの、日本、北米、欧州を中心に高機能タイプ等の既存製品が低調に推移し前年同期を下回りました。電子ドラムは、普及価格帯の新製品が販売に貢献したものの、欧州を中心に高価格帯製品が低調に推移し前年同期を下回りました。楽器用アンプは、ギター用アンプの新製品が販売好調であったものの、全体としては前年同期並みで推移しました。結果、電子楽器の売上高は、79億38百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

#### [ギター関連電子楽器]

ギター用エフェクターは、中南米及びアジアで販売が堅調に推移したものの、欧州を中心とした主要市場での販売低迷により、全体としては前年同期並みとなりました。また、ギター・シンセサイザーでは新製品の発売により前年同期を大きく上回った一方、ギター用マルチトラック・レコーダーで前年同期を下回りました。結果、ギター関連電子楽器の売上高は、42億90百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

#### [家庭用電子楽器]

電子ピアノは、新音源搭載の製品が販売を大きく伸ばした前年度の状況が落ちつき、欧州を中心に前年同期を下回りました。一方で、電子アコーディオンと自動伴奏機能付き音源の海外向け新製品が、北米と欧州で好調に推移しました。結果、家庭用電子楽器の売上高は、50億47百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

#### [映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器]

業務分野では、音響機器ではデジタル・ミキサー等の販売が伸び悩んだ一方、映像機器では幅広い用途で需要が見込まれるライブ動画配信用AVミキサーとビデオ・ミキサーの新製品が販売好調で、前年同期を上回りました。一方で、コンピュータ・ミュージック機器では、日本と欧州で販売が伸び悩み、特にポータブル・レコーダーの販売減少が全体に大きく影響しました。結果、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器の売上高は、26億33百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

#### [その他]

日本国内における通信カラオケ機器用音源の販売減少が大きく、その他の売上高は、10億36百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

### 【コンピュータ周辺機器事業】

プリンターは、薄手のロールメディアから厚手のパネルボードまで、1台で印刷可能な製品や、厚みのある素材への直接印刷を実現するデスクトップサイズの製品等、UVプリンターの新製品が好調に推移しました。また従来の低溶剤インクジェットプリンターにおいても、メタリックシルバーインクを搭載したコンパクトサイズの新製品を投入することにより、大型機の導入が難しかった新規顧客層の開拓を図りました。しかし、欧州での設備投資が慎重になったことやアジアでの成長が緩やかになったことにより主力製品の販売が減少し、全体では前年同期を下回りました。

工作機器は、前年度にデンタル市場向けに発売した切削機の新製品が販売に貢献しました。

サプライ品は、海外での需要増加や、様々な形状に加工されるパッケージへの印刷を可能とする、高い伸縮性を有するUV硬化インクが好調に推移する等、インクを中心に売上を伸ばしました。

結果、コンピュータ周辺機器事業の売上高は、160億43百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比較して9億15百万円減少し、782億5百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が21億12百万円減少し、また在庫削減等により商品及び製品が3億32百万円減少した一方、繰延税金資産等を含む投資その他の資産のその他が20億71百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して18億46百万円減少し、131億44百万円となりました。その主な要因は、法人税等の支払いにより未払法人税等が6億24百万円、未払金等を含む流動負債のその他が12億61百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して9億30百万円増加し、650億60百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当が2億97百万円あった一方、四半期純利益が5億12百万円あり、また在外関係会社の前会計年度末である平成22年12月末から第2四半期会計期間末である平成23年6月末にかけての米ドルを除く主要国通貨に対する円安進行を受け為替換算調整勘定が6億97百万円増加したことによるものです。

自己資本比率は、主に上述の総資産の減少と純資産の増加を受け、前連結会計年度末と比較して1.8ポイント上昇し、62.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	332	792	+460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△582	△2,024	△1,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166	△521	△355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,548	14	+1,563
現金及び現金同等物の減少額	△1,965	△1,738	+226
現金及び現金同等物の期首残高	20,401	19,047	△1,354
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	175	118	△56
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	18,611	17,426	△1,184

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、174億26百万円となり、前第2四半期末に比べ、11億84百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、7億92百万円の資金の収入があり、前第2四半期連結累計期間と比べ、4億60百万円の収入の増加となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間において、たな卸資産の削減による資金の収入があった一方、前年同期では還付であった法人税等が支払となったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、20億24百万円の資金の支出となり、前第2四半期連結累計期間と比べ、14億41百万円の支出の増加となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間において、関係会社株式を取得したことと、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、5億21百万円の資金の支出となり、前第2四半期連結累計期間と比べ、3億55百万円の支出の増加となりました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間において、短期借入金の増加による資金の収入があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月10日に公表しました通期業績予想につきまして見直しを行いました。

なお、詳細につきましては、本日、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」で開示しています。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,586,781	17,474,308
受取手形及び売掛金	9,502,158	9,502,239
商品及び製品	15,242,183	14,909,664
仕掛品	553,285	643,822
原材料及び貯蔵品	4,158,458	4,121,898
その他	5,223,392	4,545,465
貸倒引当金	△406,993	△404,638
流動資産合計	53,859,266	50,792,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,767,329	22,016,238
機械装置及び運搬具	3,388,322	3,485,288
工具、器具及び備品	10,742,474	11,348,376
土地	8,372,349	8,398,417
建設仮勘定	99,636	73,273
減価償却累計額	△25,358,193	△26,301,409
有形固定資産合計	19,011,919	19,020,183
無形固定資産		
のれん	90,288	536,603
ソフトウェア	1,003,287	893,332
ソフトウェア仮勘定	74,473	90,040
その他	82,090	82,584
無形固定資産合計	1,250,139	1,602,560
投資その他の資産		
投資有価証券	1,809,280	1,513,335
その他	3,270,930	5,342,441
貸倒引当金	△80,455	△65,733
投資その他の資産合計	4,999,756	6,790,042
固定資産合計	25,261,816	27,412,787
資産合計	79,121,082	78,205,547



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,972,272	3,906,969
短期借入金	770,458	796,306
1年内返済予定の長期借入金	3,923	4,323
未払法人税等	855,255	231,192
賞与引当金	1,245,956	1,172,638
役員賞与引当金	—	20,000
製品保証引当金	461,508	430,550
その他	4,928,704	3,667,285
流動負債合計	12,238,080	10,229,266
固定負債		
長期借入金	264,208	262,873
繰延税金負債	23,846	24,571
再評価に係る繰延税金負債	187,289	187,289
退職給付引当金	329,092	400,790
その他	1,948,661	2,040,207
固定負債合計	2,753,099	2,915,732
負債合計	14,991,179	13,144,999
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,274,272	9,274,272
資本剰余金	10,801,182	10,801,175
利益剰余金	36,207,360	36,474,460
自己株式	△1,767,961	△1,767,942
株主資本合計	54,514,854	54,781,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,929	△102,403
土地再評価差額金	△1,498,983	△1,498,983
為替換算調整勘定	△5,353,845	△4,656,109
その他の包括利益累計額合計	△6,893,758	△6,257,496
少数株主持分	16,508,807	16,536,079
純資産合計	64,129,902	65,060,548
負債純資産合計	79,121,082	78,205,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	39,271,455	36,989,601
売上原価	22,907,342	22,716,534
売上総利益	16,364,112	14,273,066
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,664,590	1,678,119
貸倒引当金繰入額	169,228	—
給料及び賞与	6,677,979	6,796,525
賞与引当金繰入額	594,009	519,402
役員賞与引当金繰入額	20,000	20,000
製品保証引当金繰入額	78,344	100,164
その他	5,661,745	5,342,125
販売費及び一般管理費合計	14,865,897	14,456,337
営業利益又は営業損失(△)	1,498,214	△183,271
営業外収益		
受取利息	52,405	51,993
受取配当金	63,493	39,999
その他	165,399	141,979
営業外収益合計	281,297	233,972
営業外費用		
支払利息	31,671	34,361
売上割引	292,186	315,309
為替差損	992,829	68,400
その他	53,432	22,750
営業外費用合計	1,370,119	440,821
経常利益又は経常損失(△)	409,392	△390,120
特別利益		
固定資産売却益	2,853	6,961
投資有価証券売却益	260	—
特別利益合計	3,113	6,961
特別損失		
固定資産除売却損	29,824	11,952
投資有価証券評価損	2,442	5,876
特別損失合計	32,266	17,829
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	380,239	△400,987
法人税、住民税及び事業税	849,583	241,577
法人税等調整額	△347,129	△1,214,257
法人税等合計	502,453	△972,679
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△122,214	571,691
少数株主利益	388,571	59,068
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△510,786	512,622

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△122,214	571,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△300,137	△61,876
為替換算調整勘定	△2,826,584	1,094,852
その他の包括利益合計	△3,126,722	1,032,975
四半期包括利益	△3,248,937	1,604,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,647,458	1,148,884
少数株主に係る四半期包括利益	△601,479	455,782

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	380,239	△400,987
減価償却費	1,213,848	1,139,833
のれん償却額	32,801	31,203
受取利息及び受取配当金	△115,898	△91,993
支払利息	31,671	34,361
為替差損益(△は益)	470,824	237,843
固定資産除売却損益(△は益)	26,971	4,991
投資有価証券評価損益(△は益)	2,442	5,876
売上債権の増減額(△は増加)	△658,913	422,465
たな卸資産の増減額(△は増加)	△985,609	1,193,105
仕入債務の増減額(△は減少)	△77,209	△635,176
その他	△236,076	△355,617
小計	85,090	1,585,905
利息及び配当金の受取額	105,583	91,086
利息の支払額	△39,213	△33,863
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	180,551	△850,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	332,011	792,580
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△609,449
定期預金の払戻による収入	62,825	608,740
有価証券の取得による支出	△121,652	—
有形固定資産の取得による支出	△476,391	△776,438
有形固定資産の売却による収入	8,757	18,780
無形固定資産の取得による支出	△164,773	△132,168
投資有価証券の売却による収入	500	—
関係会社株式の取得による支出	—	△949,259
出資金の払込による支出	△1,670	—
長期貸付けによる支出	△1,694	△444
長期貸付金の回収による収入	11,355	6,257
その他	100,615	△190,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△582,130	△2,024,003
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	269,422	3,915
長期借入れによる収入	12,006	—
長期借入金の返済による支出	△21,052	△2,046
配当金の支払額	△237,884	△297,349
少数株主への配当金の支払額	△174,913	△205,751
その他	△13,833	△20,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,254	△521,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,548,920	14,309
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,965,293	△1,738,937
現金及び現金同等物の期首残高	20,401,506	19,047,136
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	175,131	118,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,611,344	17,426,854

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	22,990	16,281	39,271
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	22,990	16,281	39,271
セグメント利益又は損失(△)	△190	1,688	1,498

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	20,946	16,043	36,989
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,946	16,043	36,989
セグメント利益又は損失(△)	△829	646	△183

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。